

人文会 ニュース

人文会第9回総会をおえて／中平千三郎

自主スリップによる商品管理について／岡安喜三郎

「売上カード」を集計して／特約店委員会

人文会特約書店関東地区巡回訪問報告／販売委員会

I.P.A.大会雑感

新刊目録

'76. 6

12

日本古代文化の探究 既刊10冊・各二〇〇円

都城

上田正昭編

(最新刊)

日本における都城の成立とその条件につき、古代中国・朝鮮の都城と比較研究。

文字

上田正昭編

家

大林太良編

馬

森浩一編

風土記

上田正昭編

船

大林太良編

鉄

森浩一編

火

大林太良編

隼人

大林太良編

墓地

森浩一編

続刊

城古事記 戦蝦夷池鏡

以上6冊

今秋より刊行

東京文京1
本郷

社会思想社 振替東京
6-71812

夏目漱石論

梶木剛著

勁草書房

東京文京後楽2-23-15
振替/東京5-175253

本書は、吉本隆明主宰の雑誌「試行」に発表された長篇評論で、特に、知識人の「位相とその論理」という視点から、漱石の「道草」における転換を論及したところなど、従来の漱石研究を大幅にぬりかえたともいえる。

四六判上製 360頁 予価一六〇〇円

ジーン・ブルースタイン 皆河宗一訳

民衆の声

エマスン、ホイットマンからフォークナーにいたるアメリカの文学伝統と、フォークロアからジャズやロックにいたる民衆芸術との接点を探り、今日のアメリカ文化の基底に流れる民衆のエネルギーを再発見する意欲的アメリカ文化論。

一八〇〇円

晶文社

東京都千代田区外神田2-1-12
電話(255)4501

【新撰日本古典文庫 四】

古語拾遺

・高橋氏文

秋本・安田校註

本書は最近の神話学・文化人類学の成果をとり入れつつ、その解明・研究に便利なように配慮した。 四八〇〇円

ミシユレ 森井真訳

愛

上 青春・結婚……
下 誘惑・病い……

各1200円

「愛」についての純粹にして根源的な確信の書である
吉本隆明氏の論稿を併録

東京・文京・小日向1-24

現代思潮社

人文会第9回総会をおえて

人文会代表幹事 中 平 千 三 郎

当会は5月7日に第9回年次総会をひらきました。

これまで一年間の経過を総括し、これからの一年を展望いたしました。本年は新たに大月書店が入会いたしました。マルクス・エンゲルス全集全41巻の完結を期して、さらに人文図書の強化充実につとめるとのことですのでよろしく願いいたします。役員の改選もいたしました。本年の特色は書記の増員と委員会の改廃です。書記の増員は部内運営の円滑化をはかったものですが、委員会の改廃については人文会活動にかかわりますので若干ご説明しておきます。

まず四季報委員会は去る3月人文会四季報を廃刊いたしましたので必然的に消滅いたしました。読者むけの情報活動につきましては、近刊図書情報「これから出る本」の創刊もあり、四季報に代るべきはしっかりしたものはまだありませんが、新しい構想を検討中です。

弘報委員会は主としてこの人文会ニュースの編集制作にあたり、内容の刷新充実と発行の定期化を当面の目標としています。業界弘報をも担当します。

特約店委員会ははじめての特約店改定をこの秋にひかえて、覚書の実施を内外に呼びかけております。特約店制度もいよいよ本格的になります。制度の定着のためにはひろい販売活動の効果的な集約が必要となるでしょう。

販売活動にこそ人文会の本領は発揮されます。本年度は販売委員会の拡大強化をはかって委員を倍増し、販売部門に二つの委員会を設け第一、第二委員会といたしました。ある販売企画を実施するためには、充分な調査と準備が必要なことは各社が日常経験していることです。それを人文会としてまとまった共同の事業として実行していきたいと思います。そこで第二委員会が企画調査にあたり、第一委員会が業務実行にあたるというのが基本的なふりわけですが、会員全体がこれに積極的に参加するのはもとよりであります。

以上年次総会の報告によせて、新しい人文会の構成と構想をお知らせいたしました。今年で結成以来早くも10年になります。これまでのご支援を感謝いたしますとともに今後一層のご協力をお願い申し上げます。

自主スリップによる商品管理について

岡 安 喜 三 郎

(東大生協本郷書籍部店長)

1 単品管理の発想の転換

店の基本は品揃えであると言われているがよほどの大書店でもない限り、日本で出版されている全ての本を陳列することはできない。自ずと客層に合わせた独自の品揃えが必要になる。そしてそれは決して版元サイドの常備の考えではなく店舗サイドの自主常備の考えである。

以前の本郷での管理は、中分類毎（歴史、経済、法律等）に、版元別管理をしていた。それは簡単な表を作成して行なえる。しかしそれだけでは多様化し専門化する本郷の読者には応えきれなくなった。この発想法だとよく売れる商品群が版元別に区切られることになる。そうなれば自ずと大・中の出版社の本だけが店内に残ることになり、小出版社でたとえ立派な本がでていても店の棚に並ばなくなることになるだろう。管理する場合の商品群をどのように区切るか。それは、出版社＝書店のきずなからの発想ではなく、書店＝読者のきずなから発想されなければならない。このあたり前のことも、主として管理技術上の面から、なかなか実行されなかった。実際、普通にやっていたは、よほどのベテランでもない限り継続は不可能であろう。それも1人ではなく複数必要なのである。この点は生協の実情から無理なことであった。

そして、ここに登場するのが「自主スリップ」による管理である。これは主に多品種少量販売という「宿命的」販売方法を、その商品のもつ文化性・学術性を維持しながら、どう平準化できるかという志向の中から生まれてきたものである。

2 自主スリップによる棚管理

棚はその店の顔である。自主スリップ管理とは、棚管理を日常的には自主スリップのみで行うことである。ここで、自主スリップとは、常備スリップなのであるが、版元（取次）のスリップではない、店としての常備スリップである。これにより、以下のような平準化・簡素化が可能になった。

(イ) レジ分類の平準化

自主スリップは、レジの売上管理分類毎に色分けされている。これによりレジ分類は、誰でも間違いなく行なえるようになった。そうすれば必然的に分類別供給高が信頼性をもつものとなり、様々な対策、政策の上で大きな力を発揮する。

ただし平積分については自主スリップはないので、分類はコード番号を利用している。コード番号のない版元もあるが、種類は少ないのですぐに覚えることができる。

(ロ) 陳列技術の平準化

今までの陳列は、担当者の経験と能力に頼らざるを得なかった。それは1つの店舗でありながら分野毎の陳列が違うようにあらわれる。しかし、自主スリップに小分類印、棚ナンバーを明示することにより、誰でも所定の場所への陳列が可能になる。これによりまず専門書の小分類陳列が容易になった。とりわけこれは自然科学の専門書にはかなりの力を発揮した。そしてこれによって、文庫の著者別陳列、新書の分類別陳列など、ほぼ思った通りの陳列が可能になると思う。

(ハ) 発注作業の単純化

このことを実現するために1つの操作を行なった。それは、1冊の本には1枚のスリップが対応するようにしたことである。すなわち、棚に入っている本＝常備図書には、自主スリップが1枚だけ必ず入れてあり、しかも他のスリップは一切ない。こうすることによってレジから回収されたスリップのうち、自主スリップについては自動発注が可能になる。これによって棚との[・][・][・][・]にらめっこはなくなった。担当者は日常的に棚部分の発注に気を使う必要がなくなった。常備入替時の単品選択と定期的欠本調査に主要な力をさくことによって、棚管理が日常的には簡素化されるし、担当者の主要な力は平台部分に注がれることになる。

(ニ) 単品管理の簡素化

品揃えのための基本管理は単品管理から始まると言われるが、以前のようにカードで単品毎に何冊売上げたかの記入作業は膨大な量になる。しかし単品管理をなおざりにするわけにもいかない。そこで単品管理カードの役割を自主スリップにもたせることにした。作業としては以前から行なっていた日付印を自

主スリップの裏に押すだけのことなのであるが。

しかも、こうすることによって小分類毎単位での回転把握が容易になるし、商品管理の目が版元のワクを越えて、自分の棚に合わせられるようになる。

なお、これによる管理対象は年3回以上週1回未満を対象としており、月3回以上の回転は含まない。すなわち、常備品から外ずれるか、複数在庫になるか、常に査定を受けることになる。

3 自主スリップと版元常備カード

自主スリップは金がかかるではないか、とかの疑問をもたれるかも知れない。しかし、版元、取次で作成する常備カードは「補充カード」の意味であり、これを自からの店舗の管理カードにするには、ちょっと困難であろう。それぞれの作成するカードは紙質、大きさ、色など全てバラバラであり、少なくとも視覚に訴える限り、管理の目は版元別になってしまう。別にこれが悪いというわけではないし、ある段階では必要なことであった。しかしより細やかな管理を行なう場合、先に述べたような管理が、視覚、感覚を含めてあらゆる場合において読者＝店舗サイドになるためには自主的に作成したスリップが必要である。

ここで1つ問題になるのは、この自主スリップを版元がどう受け入れてくれるかである。その端的な例が事故連絡にあると思う。まさか自社作成の常備カードで注文が来た時、品切だからといって「品切」の判を押して返す出版者はないと思う。自主スリップの場合はいとも簡単に「品切」の判を押されてしまう。自主スリップなのだから仕方ないと思ってはみるのだが、これが版元での常備カード並の扱いを受けることを心待ちしている。考え方によれば、常備店（特約店）契約の中には、どの常備カードにするなどは入っていないのだから、今後どれを使うかということが決められるのではないかと期待している。そのために自主スリップの効果と役割については、声を大にして訴えたいのである。

「売上カード」を集計して

特約店委員会

「人文会ニュース」11号にて述べましたように会員各社より「売上カード」のうち人文書の売上冊数を書店別に集計してみました。

会員社のうち社よりの報告をもとに、集計致しました。(青木書店・勁草書房・社会思想社・晶文社・誠信書房・東京創元社・東京大学出版会・福村出版・平凡社・法政大学出版局・みすず書房・未来社・有斐閣・理想社の計14社)

売上冊数上位50社の書店を下記に列举致します。

① 新宿 紀伊國屋 50245	② 武蔵野 弘 栄 堂 11671
② 大阪 旭屋本店 38036	③ 大阪 旭屋アベノ店 11421
③ 大阪 紀伊國屋 36250	④ 福岡 金 文 堂 11267
④ 千代田 書泉グランデ 27145	⑤ 京都 立命大広小路 11233
⑤ 豊島 芳 林 堂 24945	⑥ 目黒 東大生協 11219
⑥ 渋谷 大 盛 堂 22300	⑦ 中央 丸 善 11143
⑦ 文京 東大生協 22299	⑧ 札幌 学 生 書 房 10643
⑧ 千代田 中大生協 21597	⑨ 大阪 旭屋駅前店 10617
⑨ 千代田 三省堂 18313	⑩ 千代田 政 文 堂 10426
⑩ 京都 駿々堂 京宝店 18049	⑪ 札幌 紀伊國屋 10219
⑪ 新宿 三省堂 西口店 17664	⑫ 京都 立命大衣笠 10176
⑫ 名古屋 丸 善 15937	⑬ 京都 同大生協 10074
⑬ 横浜 有 隣 堂 14505	⑭ 名古屋 三省堂 10073
⑭ 横浜 有隣堂 西口店 13943	⑮ 渋谷 三省堂 9992
⑮ 豊島 旭屋東武店 13864	⑯ 千代田 法大生協 9047
⑯ 京都 京大生協 13717	⑰ 名古屋 名大南部 8702
⑰ 新宿 芳 林 堂 13494	⑱ 福岡 リーブル天神 8685
⑱ 新宿 早大本校 13472	⑲ 仙台 東北大川内 8497
⑲ 千代田 書泉ブックマート 13036	⑳ 千代田 東京堂 7924
㉑ 渋谷 紀伊國屋 12681	㉒ 中央 旭屋書店 7675
㉓ 豊島 三省堂 12518	㉔ 京都 丸 善 7519

④③ 西 宮 関 学 生 協 7281	④⑦ 京 都 京 都 書 院 6732
④④ 大 田 学 松 堂 7210	④⑧ 広 島 紀 伊 國 屋 6611
④⑤ 横 浜 ジョイナス栄松堂 7145	④⑨ 岡 山 紀 伊 國 屋 6444
④⑥ 浦 和 須 原 屋 6834	⑤⑩ 京 都 ナ カ ニ シ ヤ 6439

また14社のうち2社以上に対して「売上カード」を送付していない「人文会特約店」には下記の文書をおくり、「売上カード」の送付方につき督促いたしました。

拝 啓

新学期の最需要期を迎え、ご多忙のことと存じます。

さて、当人文会におきましては、一昨年11月、特約店制度を実施いたし、その選定に当っては、先ず(1)会員社12社以上と常備契約をし、(2)会員社の人文図書を1,000点以上展示する。以上の2点を基準として参りました。そこでこのたび、会員社あてお送りいただいている「売上カード」にもとづいて、特約店各位の人文図書販売実態を調査いたしました。

その結果、貴店よりの「売上カード」送付が残念ながら「覚書」に添われておらず、会員社によっては、まったく受理していない社がございます。会員社においては、「覚書」の完全実施をめざし「売上カード」の分析報告、或いは販売協力金(手数料)のお支払いなど、特約制度発足時には、未実施のところも、徐々にではありますが、「覚書」の各項目の履行に努力しております。

本年秋「覚書」更改期には、人文図書の販売実態を含めて、特約店の選定を行なう予定でおります。(人文会ニュース11号参照)

つきましては、ご多忙中恐縮ですが「売上カード」の定期的ご送付に、ご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

追而 ご参考までに会員社の販売協力金、お支払い現況は左記の通りです。

3月25日

人文会 特約店委員長 相田良雄

会 員 社 名	1 枚×円, 定価×%, 他
青 木 書 店	6 円
紀伊國屋書店	検討中
勁 草 書 房	5～7 円（送付枚数によって段階）
現 代 思 潮 社	5 円
社 会 思 想 社	5 円（文庫 1 円）
春 秋 社	6 円
晶 文 社	5 円
誠 信 書 房	10 円
筑 摩 書 房	検討中
東 京 創 元 社	検討中
東京大学出版会	10 円（特別協力店に対し）
日 本 評 論 社	検討中
福 村 出 版	5 円
平 凡 社	1～2 %（販売高により段階）
法政大学出版局	5 円
み す ず 書 房	5 円
未 来 社	定価1,000円以下10円 2,000円以下20円2,001円以上30円（特約店のみ）
有 斐 閣	1 %
吉 川 弘 文 館	5 円
理 想 社	8 円

本年 8 月にまた会員各社よりのデーターをもとに本年度の「人文会特約店」を選びたいと存じております。

「売上カード」はぜひ定期的（毎月または隔月）に会員社に送られますようお願い申し上げます。

人文会特約書店 関東地区巡回訪問報告

販 売 委 員 会

人文会と人文会特約書店のコミュニケーションをより一層深める目的で、今春関東地域 87 特約書店を歴訪いたしました。訪問するに当たり、事前に下記の「人文会特約店状況アンケート」の回答を受け、それをもとに会員20社を五班（四社一組）に分け、それぞれご意見を承ることができました。

<アンケート>の項目

- ・書籍の全売上に対して人文図書の売上率は何%を占めますか。
- ・人文図書の棚段数は（3尺棚を1として）何段使用ですか。
- ・売上カードの送付状況について。
- ・売上カードによる分析報告の可否。
- ・人文会ニュースの活用について。

その他、訪問に当って

- ・人文会フェア（仮称）を、企画検討中でございますが、それについてのご意見。
- ・人文会に対する要望は。

ご意見を集計すると

- ・人文会フェアについて
 - ・訪問店87店のうち、①テーマ、②開催時期、③商品の選定基準等を考慮のうへ、約80%強の特約店が参加の意向をもっておりました。また、売場面積、平台スペース等の都合で不参加は20%弱であった。
 - ・各社の常備品や、人文図書特選セットと重複しないタイムリーな企画をどのように実施するかが、人文会フェアの鍵になることと思われる。

-
- ・テーマによっては、展示書目をA, B, Cなどいくつかのセットに分け、選択を可能にしてほしいという意見が多かった。
 - ・開催時期については、実施期間が各店に合えば、年間計画にも取り入れ慣例化を計りたい。

・人文会に対する要望

- ・「人文会ニュース」、「人文会四季報」はどちらも季刊であるため、書店、読者とも印象が薄いようである。
- ・読者は新刊情報をもとめている。三ヶ月前のものでは既にニュース性が欠けている。
- ・読者用にもせめて隔月発行の新刊案内を望む、判型は新聞型式よりも「岩波書店の新刊」の様なA5判を望む。
- ・各社の目録の判型を統一化して欲しい。(アイウエオ順に各社の目録のファイルが可能)
- ・販売指数つき売行良好書の情報が欲しい(刷数やロングセラー、新刊書を区別して)。
- ・常備出品目録を送って欲しい(欠本調査を義務づけるなり、定期的に送って欲しい)。
- ・常備品のセット選択、全点選択を望む(受注品全点展示が不可能な店も若干あった)。
- ・新刊や常備品以外の補充スリッパ(精算時点で返品可能な)を送って欲しい。
- ・売上カードを20社一括して人文会に送れないか、①郵便料金の値上げ、②人手不足の上から。
- ・売上カードを統一化して欲しい。これには逆に統一化することによって整理がしにくいという意見も出た。
- ・売上カードの分析報告は、
 - ① 地区単位の指数を入れるなり
 - ② 販売担当者の意見やコメントを記入するなり
 - ③ 常備入替期(申込書送付に併せて)に送ってくれば良い

昨年秋から準備を進めましたが、実際訪問する期間が、教科書販売や学参書の販売期にまたがり誠に恐縮に存じました。ご多忙の中で多くの人文担当者に面会できましたこと深くお礼申しあげます。また、初めての巡回のため、日時の不備な点があったことおわび申しあげます。

状況アンケートの配布から回収まで、その労をとられた取次店のご担当者に併せてお礼申しあげます。

以上不備な点もございますが、皆さまからおよせいただいたご意見、ご要望の多いものをご報告申しあげました。これらのご要望に対する人文会の答えは、次号以下でする予定であります。

人文会としての特約書店訪問は、地区研修旅行を別にして、今回、初めての試みでございましたが、多くの特約書店で歓迎されました。今後は全国を定期的に訪問できるよう計画に入れてまいります。

人文会特約書店制度も、本年で3年目を迎え、ますます、人文図書の普及、販売の強化を皆さんから望まれております。上記の諸々の問題、新企画等を解決し、そく増売につながるよう対処してまいります。

本年五月の総会にて、今回の書店巡回の報告が出され、それを基盤に検討がなされました。その結果、販売委員強化の要請が強く出てまいりました。したがって、当販売委員会を、販売業務分担と、販売企画分担の二本の柱を建て、手近かな問題から実施努力してまいります。どうかよろしくご指導賜りますようお願い申しあげます。

大月書店が新入会 去る5月7日、川治温泉一柳閣において開催された第9回年次総会において、人文会の新しい会員社として大月書店の入会が承認されました。同社は、1946年11月現社長小林直樹の自営として発足し、1957年11月株式会社資本金400万円として改組。従業員数43名（男子39名、女子4名）を有する中堅出版社であり、年間出版点数50点、年間売上高7億円を上げております。出版内容の最たるものは『マルクス＝エンゲルス全集』（全41巻）で、この偉業は出版業界に燦として輝く金字塔といえよう。このような金字塔のほかに人文・社会科学単行本250点の保有は、人文会会員社としての資格を充分に有し、新しい息吹きとして人文会の発展に大いに貢献することが期待される。

I P A 大 会 雑 感

中 平 千 三 郎

アジアではじめての、I P A第 20 回大会は、予定通りすべての日程を終了した。近く大会議事録が編集される。

さて、会議は前後 2 回の全体会議の他、6 つのテーマのもと 23 のトピックスが設定され、4 日間に 11 の会場で同時進行だ。一つの会議が 2 時間半で議題が 2 つ、報告者が 3 ～ 5 人だから質問の時間はあまりない。それでも外人は活発に発言する。英語、フランス語、ドイツ語と日本語の同時通訳だから、イヤホンをつけていればすべて日本語で聞けるが、報告書を追って行くのが精一杯。

2 日目は午後からナカニシヤ中村社長の告別式に参列して一旦帰京。4 日目に出直し。午前は再販問題、午後は図書館問題。この二つは報告書のゲラを入手して、再販本部委員会と、書協の図書館連絡委員会で一応検討したから発言の責任がある。前日の経験から議長が目につきやすくて、マイクの近くに陣取った。同時通訳といっても日本語は少々おくれる。議長の質問許可を聞きそこなったので二番手に発言。日本の現状をのべ流通に関する統計収集の提案に賛成した。終りにもう一度発言をもとめて近刊図書情報の宣伝一席。午後は前もって発言の意志表示をしておいて第一発言。日本の出版界と図書館の関係を説明、報告書の統計の数値を訂正。つづいて晶文社の中村氏が疑問を呈したが適確な答えがない。意味が充分つたわらないらしい。言葉の問題である。

言葉が通じたらなあと痛嘆したのは、三度のレセプション。開会日、中日、最終日と次第に顔は見覚えるが、話の通じるのは韓国の方々だけ。韓国は韓会長以下 30 人の参加、新聞記者を 6 人つけてきたというから立派なものだ。われわれの方は情報の問題を扱いながら、情報の生し方、使い方が十分でなかったようだが、世界の出版人は一応満足してくれたらいい。消息通によると、一人あたり登録料の三倍近い経費がかかったそうだから喜んでもらって当然だという。ただしわれわれ日本人はこの大会で何を得たか。それはこれからのこと。開会日にわたされた会議案内には、会議に参加する方は出席前に必ず論文集を読んでおくようにして下さいとある。この大部の報告論文集も同時にもらった。いまからでもおそくない。ゆっくり読ませていただきます。

4 年後のストックフォルムまでサヨナラである。

新刊図書目録

自 昭和51年 3月 1日
至 昭和51年 5月 31日

哲 学 ・ 思 想

アナキズム的 ユートピア

ブルノー・フライ著
真下信一訳

アナキズムの思想を歴史的源流にさかのぼり究明し、その空想性と有害な役割を批判する。
四六判 220頁 ¥1,200 (青木書店)

統一戦線史序説1914—1923 中林賢二郎著 —インタナショナルにおける 統一と分裂の論理—

第一次大戦後の国際労働運動内部における統一への模索を実証的に跡づけ、その歴史的教訓を導く
四六判 264頁 ¥1,600 (大月書店)

講座・現代人の科学12巻

現代科学の展望

日本科学者会議編

民主主義を基礎にした諸科学の総合的發展の方向を意欲的に解明した現代科学についての科学論。
四六判 260頁 ¥1,200 (大月書店)

理性の不安

坂部 恵著

—カント哲学の生成と構造—

批判期前に焦点を合せ三批判書にみる近代の人間とその理性の枠組を相対化する異色のカント論。
四六判 250頁 ¥1,600 (勤草書房)

超自然的認識

シモーヌ・ヴェイユ著
田辺 保訳

最晩年のノートにみる聖書の独自の解釈、各国民話・神話の研究等、広く深い宗教的思索の結晶。
四六判 424頁 ¥1,700 (勤草書房)

武谷三男現代論集 3巻

技術と科学技術政策

武谷三男著

一貫して人権の立場に立ち、日本の技術の自主性・創造性の確立を主張してきた著者の行動と論理
四六判 320頁 ¥1,600 (勤草書房)

愛 上・下

ミシュレ著
森井 真訳

1848年革命から10年を経て2年間を費して書きあげた本書は「愛」についての純粹にして根源的な書
四六判 上280頁 下256頁 各¥1,200 (現代思潮社)

現代ヨーロッパ社会 思想史 上・下

G・ルフラン著
花崎皋平訳

サン・シモン、フーリエからマルクス、レーニンを経て第二次大戦後の諸思潮まで系統的に論及。
四六判 平均284頁 各¥1,800 (社会思想社)

中村元選集19巻

普遍思想 (下)

中村 元著

普遍の思想が生活の規範として定着し、国家の理想と相俟って宗教的色彩を濃厚にする過程を解説
四六判 480頁 ¥3,500 (春秋社)

インド哲学仏教学研究(3)

金倉圓照著

インド哲学の大家による論文のうち、サーンキヤ学派の思想を中心に重要な思想の二、三を解説。
A 5判 494頁 ¥5,800 (春秋社)

中国般若思想史研究

平井俊栄著

中国仏教の基点を般若、空の思想の發展の中から捉え、その重要な点を解説する一大研究論文。
菊判 760頁 ¥10,000 (春秋社)

哲学講義 I 巻

認 識 I

P・フルキエ著
森有正・中村雄二郎・菅野昭正監訳

フランスの思想、文化の基礎を形づくってきた「哲学教育」の教科書の待望の本邦初訳。
A 5判 298頁 ¥1,800 (筑摩書房)

哲学講義 II 巻

認 識 II

P・フルキエ著
森有正・中村雄二郎・菅野昭正監訳

哲学の中心課題を形づくる形而上学の諸問題と、科学の全分野を展望する。
A 5判 383頁 ¥1,800 (筑摩書房)

権威主義国家の中で

久野 取著

現代日本の体制を支える思想、文化を根元的に批判する、著者の最新評論集。
四六判 234頁 ¥1,200 (筑摩書房)

近代日本思想大系29巻

小林秀雄集

吉本隆明編集・解説

批評を創造にまで高めた、現代日本がもつかけがえのない知性である小林秀雄の代表作を収録。
四六判 440頁 ¥1,800 (筑摩書房)

近代日本思想大系30巻

明治思想集 I

松本三之介編集・解説

以前の日本がかって経験したことのない規模と烈し
さで展開された思想的対決の記念碑。

四六判 491頁 ¥1,800 (筑摩書房)

筑摩叢書229巻

日本人の心の歴史(上)

唐木順三著

季節美感の変遷を辿り背後の時代の性格を浮きぼ
りにした日本精神史。本巻は万葉から芭蕉まで。

四六判 324頁 ¥1,200 (筑摩書房)

筑摩叢書230巻

日本人の心の歴史(下)

唐木順三著

本巻は、西鶴から禅、儒教の思想等をへて昭和に
及び、現代の自然、季節からの疎外を批判。

四六判 319頁 ¥1,200 (筑摩書房)

禅の語録3巻

初期の禅史Ⅱ歴代法宝記 柳田聖山訳注・解説
日常生活の中に実践の思想を吹込むことにより禅
宗文献の基礎をなす敦煌発見の文献の初訳。

A 5判 356頁 ¥3,200 (筑摩書房)

十八世紀のフランス思想界

竹内謙二著

モンテスキュー、ルソー、ボルテールを手がかり
に18世紀フランス思想界全体の動きを活写する。
四六判 430頁 ¥1,800 (東京大学出版会)

UP選書151巻

レーニンとスターリン

渡辺 寛著

レーニンはいかに継承され、スターリンはいかに
否定さるべきか、系統的アプローチを試みる。

四六判 230頁 ¥800 (東京大学出版会)

芸術と解釈

今道友信編

解釈は美学の主要課題の一つであるが、本書は、
この最も現代的な課題に挑戦する新鮮な論文集。

A 5判 310頁 ¥3,000 (東京大学出版会)

倫理学概論

前川知賢著

カント倫理学を中心にすえ、揺れ動く現代社会に
おける人間の生き方を追求する。

A 5判 196頁 ¥1,600 (福村出版)

世界の思想家6巻

ガリレオ

青木靖三編

地動説を確立し、そのことにより宗教裁判で異端
とされた彼は、近代科学の土台を据えた思想家で
ある。

四六判 244頁 ¥720 (平凡社)

世界の思想家9巻

ルソー

河野健二編

自然のたのしみ、闘争状態、性、疎外、人間性、ニエ
の社会契約、所有、立法者、人民、革命等の語録

四六判 244頁 ¥720 (平凡社)

世界の思想家12巻

ヘーゲル

広松 渉編

本邦未訳の初期草稿を自在に駆使して、難解さを
もってなるその哲学を五章で構成した。

四六判 260頁 ¥720 (平凡社)

りぶらりあ選書

哲学の中心問題

A・J・エイヤー著

竹尾治一郎訳

論理実証主義の立場から哲学とは何かを説き、哲
学的分析の対象と領域、方法を明らかにする。

四六判 406頁 ¥2,400 (法政大学出版局)

りぶらりあ選書

個人と共同体

アグネス・ヘラー著

良知 力訳

小筑俊介訳

新進女性哲学者によるマルクス主義倫理学の創造
的発展を目指す示唆深い提言に満ちた好著

四六判 182頁 ¥980 (法政大学出版局)

りぶらりあ選書

ハブニングと沈黙

ハンス・マイヤー著

古沢謙次訳

一現代文学の可能性一

《歴史の弁証法》によって詩・小説・演劇の現状
を具体的に分析する現代マルクス主義文学論。

四六判 190頁 ¥980 (法政大学出版局)

東洋論理の構造

泰本 融著

インド論理学の正統＝ニヤヤ学説を歴史的に考
察し西欧論理学との比較研究をも試みる。

A 5判 350頁 ¥4,800 (法成大学出版局)

ディドロ著作集1巻

哲学 I

小場瀬卓三監

平岡 昇監

18世紀最大の哲蒙思想家、百科全書派の領袖、デ
イドロの主要著作を網羅する待望の著作集。

四六判 462頁 ¥3,800 (法政大学出版局)

雑誌 哲学 26号

日本哲学会編

一特集・価値の問題

経験と価値／稻垣良典 価値の世界と可能な世界
／藤木隆志 価値の構図／神川正彦他を収む。

A 5判 208頁 ¥700 (法政大学出版局)

神田盾夫著作集 1 巻

西洋精神の源流

神田盾夫著

西洋思想の根幹をなすヘブライズム・ヘレニズム両精神を総合的に捉えた著者の多年に亘る名講義。
四六判 460頁 ¥3,200 (みすず書房)

小林英夫著作集 5 巻

言語美学論考

小林英夫著

詩人や作家の作品のなかの言語的現象に、その芸術家の人格の投影を見出す先駆的な試図である。
四六判 360頁 ¥2,800 (みすず書房)

小林英夫著作集 6 巻

文体論論考

小林英夫著

文体論に志す者の回帰すべき古典ともいえる論考「文体論の成立について」他19篇を収める。
四六判 322頁 ¥2,500 (みすず書房)

星の輝きを宿した無知

G・ティボン著
山崎庸一郎訳

独学で歴史、哲学、文学を学んだ《百姓哲学者》の労働と思索の鮮かな結実として生まれた省察録
四六判 270頁 ¥2,000 (みすず書房)

キエルケゴールにおける

橋本 淳著

「苦悩」の世界

キエルケゴールの宗教的発展の鍵をなす「苦悩」の逆説弁証法概念を中心に彼の内面を描ききる
A 5判 474頁 ¥6,800 (未来社)

朝鮮の自主的平和統一

金 日 成著

1972年以後に祖国統一問題に関して行なった報告談話、書簡、論文等、金日成主席の主要な文献
A 5判 200頁 ¥1,200 (未来社)

宗 教

写真で見る釈尊伝

鈴木重吉著

—その遺蹟—

釈尊の生涯を実証的な遺蹟写真を中心に物語る眼で見る仏教入門と仏蹟巡拝の旅情溢れる好著。
A 4判 112頁 ¥3,800 (春秋社)

狂雲集全釈（上）

平野宗浄著

一休「狂雲集」の全偈を網羅し書き下し文、現代語訳と、語句の典拠などの詳密な注釈を付す。
菊判 370頁 ¥4,000 (春秋社)

金字宝塔曼陀羅

宮 次男著

文字塔の周囲に経内容を描くユニークな仏画で、我国にのみ伝存。仏教説話と経絵研究の基本図書
A 4判 514頁 ¥13,000 (吉川弘文館)

心 理

書き下しシリーズ

ノイローゼの話し合い療法

鈴木知準著

ノイローゼに悩む人のために全治者、治ったばかりの人、未治療の人が一座に会しての対談を公開
B 5判 288頁 ¥1,500 (誠信書房)

数理心理学の展開

J・G・グリーンノ著

岡本栄一訳
藤田恵理

知覚・学習の諸問題に具体的適用を示し、一方方法論の上に立って人間を理解しようと試みた書。
A 6判 310頁 ¥4,000 (誠信書房)

現代心理学の展開 1 巻

特殊環境における

H・E・ロス著

行動と知覚

大久保幸郎訳
鈴木由紀生

非日常的な特殊環境、即ち登山・潜水・高速運転等の人間の知覚と行為に焦点をあて解説する。
A 5判 190頁 ¥1,800 (誠信書房)

現代心理学の展開 2 巻

心理的確率

J・コーエン著

北村晴朗訳
佐藤 悦

ギャンブル・医療・犯罪・芸術・恋愛における偶然性や疑わしさ等、心理的確率の問題を鋭く説く。
A 5判 156頁 ¥1,500 (誠信書房)

臨床心理学講座 8 巻

社会・文化の変化 と臨床心理学

星野 命編
山本和郎

心理臨床の文化的・社会的条件をとりあげ、その変化を考察し、臨床実践のすすめ方を解説する。
A 5判 252頁 ¥3,000 (誠信書房)

ヒューマン・ブックス

手—その知恵と性格—

橋 寛勝著

人間性回復を求めて「手」の知恵や性格を諸角度から捉えようと試みた、手を通しての心理学通論
B 6判 230頁 ¥1,300 (誠信書房)

子どもの成長とイメージ

M・フォード著
浪花 博訳
岡田康伸訳

子どもの遊び・絵画・夢などの豊かなイメージの意味を考察し、ユング理論からの遊戯療法を提示
B 6判 282頁 ¥1,800 (誠信書房)

カフカの夢

C・S・ホール著
R・E・リンド著
外林大作訳

カフカの日記から夢を取り出し、計量的な内容分析の手法によって、新たなカフカ像を示す。
B 6判 188頁 ¥1,350 (誠信書房)

環境心理学

相馬一郎著
佐古順彦著

公害問題等、人工的環境に対して心理学的アプローチを試み、病的な現代社会を鋭く分析する。
四六判 168頁 ¥1,200 (福村出版)

危機と人間行動

堀ノ内敏
今楽国晴編
岩井勇兄

自殺、子殺し等、現代社会の異常な行動を概成の道德観にとらわれずに社会心理学的見地より分析
四六判 240頁 ¥1,500 (福村出版)

現代精神医学の概念

H・S・サリヴァン著
中井久夫訳
山口 隆

新フロイト派に属する著者が、精神医学を「対人関係の学」として捉えた極めて個性的な書である
A 5判 348頁 ¥3,500 (みすず書房)

人間科学入門

水島恵一編

心理学、社会学、教育学等の単科学の枠をこえて総合化された新しい学問〈人間科学〉の入門書。
B 6判 206頁 ¥850 (有斐閣)

心理学 1 知覚・認知

柿崎祐一編
牧野達郎

心理学の学習上最も基本的なテーマである知覚と認知を、その全人格的機能に重点を置いて体系化
B 5判 258頁 ¥950 (有斐閣)

入門教育心理学

波多野 龍余夫著
久原恵子

学習上とくに大切なテーマを重点的にとりあげ、さまざまな具体例も織り込んで興味深く叙述。
B 6判 186頁 ¥750 (有斐閣)

社 会

財政危機と住民自治

池上 淳著

財政危機の根源を明らかにし、住民の統治能力の要求を基礎とした地方自治の確立をめざす。

四六判 300頁 ¥1,400 (青木書店)

現代マスコミ論

稲葉三千男著

近年ますます巨大化するマスコミ機能を分析し、マスコミ労働者と市民の連帯による民主化を考察
四六判 288頁 ¥1,400 (青木書店)

現代のコミュニケーション

塚本三夫著

コミュニケーションを労働過程に位置づけて分析し、現代社会におけるマスコミの役割を解明する
四六判 240頁 ¥1,400 (青木書店)

現代の社会保障

中本博通編

社会保障の歴史と現状の課題を考察し、社会体制との関連において追求する共同労作。

四六判 276頁 ¥1,400 (青木書店)

国民的融合論の展開

榑 利夫著

水平社以来の部落解放運動の伝統を継承しつつ創造された国民的融合の理論を明快に展開した労作
四六判 256頁 ¥1,500 (大月書店)

高校教育論

佐々木享著

高校教育の目的、教育課程、入試問題など、今日の高校教育の基本問題を科学的に解明した意欲作
四六判 240頁 ¥1,400 (大月書店)

社会保障事典

社会保障事典編集委員会編

社会保障に関する全分野を総合的に網羅した理論と実務の集大成。わが国で唯一の社会保障大百科
菊判 1,000頁 ¥9,500 (大月書店)

続高見順日記第五巻

再起への懸命の努力も空しく、頸部リンパ腺へのガン転移という最悪の事態を迎えた時期を収録。
四六判 300頁 ¥2,600 (動草書房)

日本のすまいⅡ

西山卯三著

現代人のユメである庭つき1戸建住宅＝邸宅の実態を明らかにし、日本人のすまいの基本に迫る。
B 5判 422頁 ¥7,500 (動草書房)

ウェーバー社会学の視園

阿閉吉男著
ジンメル、デュルケムらとの比較を通して、ウェーバー社会学体系の全体像に迫る。

A 5判 278頁 ¥2,200 (勁草書房)

地方都市の権力構造

Y・クロダ著
秋元・小林訳
地方都市の政治争点分析によりコミュニティの権力構造を実証的に追求、日米の比較分析を試みる

A 5判 288頁 ¥2,800 (勁草書房)

教育と社会学

デュルケム著
佐々木文賢訳
時代・社会の諸条件に即応した教育を主張し、教育の将来の必然的傾向や歴史的法則を説く名著。

B 6判 184頁 ¥1,300 (誠信書房)

都市病理講座 4巻

都市文化の病理

那須宗一
岩井弘毅
大橋 薫
大蔵寿一
都市文化と都市人がかかえる多種多様な難題を社会病理学的視点から分析した現代人必読の書。

B 6判 392頁 ¥3,000 (誠信書房)

社会福祉の スーパービジョン

D・E・ベティース訳
松本武子著
木村嘉男著
スーパービジョンの意義・方法・技術、スーパーバイザーの役割や機能を学生・専門職員に説く。

A 5判 296頁 ¥3,000 (誠信書房)

社会福祉事業翻訳シリーズ

臨床福祉学

M・E・リッチモンド著
杉本一義訳
近代社会福祉理論の根源を探り、これを現実具体化する方法を実例で説いた不朽の古典の訳。

B 6判 256頁 ¥1,800 (誠信書房)

戦後日本における 貧困層の創出過程

笹山 京著
北海道の一農村の実態調査から社会階層の分化・分解を通じて形成された貧困層の創出過程を解明

A 5判 450頁 ¥5,400 (東京大学出版会)

東京大学公開講座22巻

酒

酒の醸造、味覚から、身体に及ぼす影響、文学の題材としての酒、法律、経済からみた酒等を検討

B 6判 320頁 ¥1,200 (東京大学出版会)

反核30年

昭和20年、広島での原爆投下の際、被爆した著者の核兵器反対の叫びと実践の記録。

四六判 200頁 ¥890 (日本評論社)

こころの科学 3巻

こころの病理

宮本忠雄編
島岡安雄編
本巻では、こころの病理を現代社会との関わりをふまえ、総合的かつ具体的に解明する。

四六判 380頁 ¥1,600 (日本評論社)

産業構造と社会変動 3巻

職場と労働者生活の変化

河野健二編
産業構造の変革が物質的側面のみならず精神構造にも影響を与えている。総合的研究の意欲的労作

A 5判 416頁 ¥4,000 (日本評論社)

現代社会学

一構造と行動の理論—

斎藤正二著
社会学の成立と発展を歴史的に検討し、病的な現代社会を構造と行動の両面から考察する。

A 5判 292頁 ¥2,200 (福村出版)

教育選書

社会福祉—保育を志す人に

吉田宏岳編
石田弘志編
保育の立場から社会福祉に対する理解を深めようという意欲的な試み。社会福祉年表を収録。

四六判 256頁 ¥1,500 (福村出版)

福村叢書

国際関係論基礎研究

許世楷
原 彬久編
南塚信吾
国家関係を考察の対象としていた従来の国際政治学に対して、民族間の有機的連関を軸に考察する

四六判 280頁 ¥1,800 (福村出版)

政治の世界⑥

伝統と権威

C・J・フリードリッヒ著
三邊博之訳
日常、安易に使われがちな政治用語の本来の意味を回復しようとする政治の世界シリーズ第6巻。

四六判 192頁 ¥1,300 (福村出版)

過疎の実証分析

—東日本と西日本の比較研究—

斎藤晴造編著
全国の典型的な「過疎の村」の実態調査をもとに生産構造の変質・再編を鋭く追求する。

A 5判 576頁 ¥7,500 (法政大学出版局)

幕藩体制下の小農経済

岡 光夫著
近世農村の階層構成と幕末の「世直し」勢力の物質的盤基を追求するための新たな展望を拓いた好著
A 5判 232頁 ¥1,800 (法政大学出版局)

家と同族の基礎理論

喜多野清一著
有賀 鈴木、戸田、及川らへの論評などからなる本書は理論的・学説史的にも画期的な成果である
A 5判 292頁 ¥2,800 (未来社)

一つの日本文化論

有賀喜左衛門著
柳田国男の民俗学批判を軸として日本仏教の性格を追求し、併せて梅原猛の法隆寺論の根底を探る
B 6判 208頁 ¥1,200 (未来社)

宮本常一著作集第22巻

産業史三篇

宮本常一著
兵庫県下釣針および(てぐす)製造販売聞書泉／佐野における産業の展開過程／紙と文化、の三篇
B 6判 400頁 ¥2,000 (未来社)

十六島紀行・海女記断片

瀬川清子著
出雲大社に近い漁村ウップルイの紀行・聞書を始めその他各地の海村山村の女性達の悲喜をつづる
B 6判 266頁 ¥1,300 (未来社)

野生の思考

レヴィ＝ストロース著
大橋保夫訳
文明社会の思考と異なる別の世界の存在の構造的提示であり、戦後思想の革命となった著者の主著
A 5判 396頁 ¥3,300 (みすず書房)

有斐閣双書

社会福祉概説

吉永 清
今岡健一郎編
星野貞一郎
福祉の制度と実務の解説に重点をおき、社会福祉の基礎的な知識を体系的に概説したテキスト。
B 6判 286頁 ¥1,100 (有斐閣)

環境法研究第5号

公害における

因果関係と受忍限度

人間環境問題研究会編
最近大きな変遷をみせている民事法の因果関係・受忍限度論を判例研究と現地調査をもとに展開。
A 5判 344頁 ¥2,000 (有斐閣)

評論

金芝河作品集 2巻

井出禺樹編訳
蕨氏物語、金冠のキリスト、良心宣言、等全作品を網羅し、日記断片、年譜、作品解説を付す。
小B 5判 300頁 ¥950 (青木書店)

生命あるものについて

A・ホルトマン著
八杉龍一訳
生命研究の意義と問題点、また生物科学からみた人間教育など、理解しやすく説いた好エッセー。
四六判 240頁 ¥1,500 (紀伊國屋書店)

神話と文学

W・ライター著
富山太佳夫訳
文学のみならず、広く我々の現実をとりまく神話的なるものは何かを追求した画期的良作である。
四六判 200頁 ¥1,200 (紀伊國屋書店)

芸術における数学

マイケル・ホルト著
西田 稔訳
広く人間の美意識のなかに、数学的精神の所在をさぐるエキサイティングな魅力をもつ小篇。
A 5判 136頁 ¥1,400 (紀伊國屋書店)

映画製作の実験

森 岩雄著
技術論、芸術論としての映画論ではなく純粋にプロデューサーの立場から映画製作の実験を語る
四六判 288頁 ¥1,600 (紀伊國屋書店)

夏目漱石論

梶木 剛著
吉本隆明主宰の雑誌『試行』に連載中より、漱石研究者をはじめ多くの人から絶賛された論考。
四六判 360頁 ¥1,700 (勁草書房)

ユビウ王

アルフレッド・ジャリ著
竹内 健訳
世紀末の呪われた詩人の特に毒々しいほどの光彩を放ちつづける呪詛と幻視の天才ジャリの傑作集
四六判 350頁 ¥1,500 (現代思潮社)

シュルレアリスム 簡約辞典

ブルトン＝エリュアール著
江原 順訳
今世紀最大の芸術運動として現在も重要さを増大されているシュルレアリスム運動の国際展の目録
A 5判 152頁 ¥2,500 (現代思潮社)

植草甚一スクラップ・ブック1巻

いい映画を見に行こう

マルクス兄弟やボギーの想い出など、シネマディクトJの魅力あふれる多彩な映画エッセイを集成
四六判 280頁 ¥780

植草甚一著

(晶文社)

植草甚一スクラップ・ブック8巻

江戸川乱歩と私

懐しき巨人・乱歩の思い出を中心に、内外のミステリーに関するエッセイや研究を集成。
四六判 248頁 ¥780

植草甚一著

(晶文社)

植草甚一スクラップ・ブック13巻

バードとかれの仲間たち

自在な筆致で綴るチャーリー・パーカー論と、エピソード豊かに描きだすソニー・ロリンズの横顔
四六判 256頁 ¥780

植草甚一著

(晶文社)

民衆の声

現代のロックに至るフォークロアの伝統と文学との接点を発見する意欲的なアメリカ文化論。
四六判 272頁 ¥1,800

ジーン・ブルースタイン著
菅河宗一訳

(晶文社)

ベニヤの学校

できたての六・三制教育を受けた著者による、受けとった側からの「戦後教育」論。
四六判 248頁 ¥1,200

河内 紀著

(晶文社)

開かれた劇場

アングラ以降の日本と世界の演劇を、同時代者の眼で追いつづけてきた演劇記者の処女評論集。
四六判 272頁 ¥1,600

扇田昭彦著

(晶文社)

ピアニストを笑え!

ジャズ・ピアノの鬼才が、その旅と音楽を、奇想天外、抱腹絶倒の文章で語る異色のエッセイ集。
四六判 256頁 ¥1,200

山下洋輔著

(晶文社)

町からはじめて、旅へ

本の読み方、食べ方、映画の見方、そして旅の話——新しいライフ・スタイルを探る独自の文化論
四六判 264頁 ¥1,200

片岡義男著

(晶文社)

理智と情感

—中国近代知識人の軌跡—
辛亥革命をはさむ清末民初の歴史の転換期を生きた、十人の中国近代知識人の思想と行動を描く。
四六判 280頁 ¥1,500

今村与志雄著

(筑摩書房)

金達寿評論集下巻

わが民族

文学者として、在日朝鮮人として、現実と激しく切り結んできた金達寿の苦闘の軌跡を集成。
四六判 368頁 ¥1,800

金達 寿著

(筑摩書房)

バルザック全集26巻

書簡集

膨大な書簡の中からわが国で初めて編まれた、バルザックの人と作品を鑑賞するための貴重な資料
フールス判 460頁 ¥2,300

私布保彦訳
伊藤幸次

(東京創元社)

歴史と文学の旅29巻

日本やきもの旅行Ⅳ

九州の陶業は朝鮮との関係抜きには語れない。唐津、有田、小鹿田、高取、薩摩、壺屋を訪ねユニークなやきもの入門書。
四六判 208頁 ¥900

秦 恒平著

(平凡社)

歴史と文学の旅30巻

日本やきもの旅行Ⅴ

山陰、山陽、四国に散在する大小の窯場のふるさとを訪ね陶芸の見方買い方と旅の在り様を書き下した書。
四六判 208頁 ¥900

藤原審爾編

(平凡社)

兎の挽歌

作家としての精神と生き方の接点を求めて描いてきた珠玉の随筆を集めその軌跡を展開する待望の作品。
四六判 352頁 ¥1,200

円地文子著

(平凡社)

続日本紀行

作家の冷徹な眼と独自の抒情的筆致をもつ紀行文集として、かつてない共感と感動を呼んだ日本紀行の続。
四六判 440頁 ¥1,200

水上 勉著

(平凡社)

船乗り重吉冒険漂流記

1813年11月 500 日の漂流の後異国を経て4年後に帰国するまでの重吉の漂流と見聞記。
A 5判 200頁 ¥950

矢代静一著

(平凡社)

黒い積荷

16～19世紀1500万人余の黒人がアフリカからアメリカに運び込まれた。惨劇をさわめた大西洋奴隷貿易の実態。
B 6判 380頁 ¥1,200

ダニエル・P・M著
土田とも訳

(平凡社)

人類学と植民地主義

G・ルクレール著
宮治 一雄訳
宮治美江子

人類学は西欧文明が未開社会を征服していく過程で誕生し、植民地帝国の黄金時代に古典的業績も実を結ぶ。

B 6判 280頁 ¥1,300

(平凡社)

現代フランス小説史

M・ナドー著
篠田浩一郎訳

現代作家の作品群を、歴史的眺望の中に位置づけた、アクチュアルな小説史であり、作家論である

四六判 330頁 ¥2,600

(みすず書房)

若きトルストイ

エイヘンバウム著
山田吉二郎訳

初期の創作活動を素材として、この作家の創作法および偉大な作品の構成プロセスを解明する。

四六判 220頁 ¥1,500

(みすず書房)

石棺と年輪

埴谷雄高著

著者の現代への道程を自伝風に記録し精神の深淵を披瀝しながら内に潜む思考方法・認識力を示す

B 6判 280頁 ¥1,200

(未来社)

銅鑼は鳴る

横倉辰次著

〔築地小劇場の思い出〕築地小劇場時代の俳優たち・舞台のエピソードを裏方の鋭い観察眼で記録

B 6判 210頁 ¥1,000

(未来社)

わたしのマンチェスター

杉山忠平著

イギリスでの印象記、青春回想記、更に近代日本のゆがみへの批判、日本語の文章についての感想

B 6判 252頁 ¥1,200

(未来社)

原太郎芸術論集 第3巻

原 太郎著

わらび座の創始者・指導者の、民族の根底に依拠した芸術創造・運動論等を集成。〔全3巻完結〕

B 6判 210頁 ¥1,200

(未来社)

武井昭夫批評集3巻

文学の危機

武井昭夫著

60年代後半の文学批評活動・文学運動の全成果を収録。他に「現代日本の反動思想」併録。自注付

B 6判 340頁 ¥1,500

(未来社)

広島・長崎30年の証言下巻

広島・長崎の証言の会編

反原爆の中から／原爆体験の継承をめざして／原爆体験の思想化／核時代の想像力の論理／座談会

B 6判 448頁 ¥1,800

(未来社)

歴史

近代日本における 歴史学の発達上・下

江口 朴郎編
野口 四郎編
松本新八郎

＜日本史学史＞をめざして、日本における歴史観、歴史学研究の発展をそれぞれの視角から解明

A 5判 250頁 ¥1,500

(青木書店)

堀江英一著作集三巻

絶対主義と市民革命

堀江英一著

幕末維新研究との比較史的方法によるヨーロッパ経済史の研究。市民革命の発展を綿密に検討する

四六判 338頁 ¥2,500

(青木書店)

堀江英一著作集四巻

産業資本主義の構造理論

堀江英一著

イギリスにおける産業資本主義成立期の研究を通して、市民革命研究に多大な示唆を与える。

四六判 320頁 ¥2,500

(青木書店)

人類学の地平と針路

モリス・ゴドリエ著
山内 昶訳

経済システムの隠された論理と未開社会における親族構造や神話の機能を明らかにした労作。

四六判 384頁 ¥2,500

(紀伊國屋書店)

流離の革命家

川上 武著

一國崎定洞の生涯一

激動の三〇年代を共産主義者として生き抜き、のちスターリンに粛清された日本人の生涯を描く。

四六判 238頁 ¥1,400

(勁草書房)

勝海舟全集15巻

陸軍歴史I

勝部 貞長
松本三之介編
大口勇次郎

幕府に遡る資料を駆使して、銃砲導入の歴史を高島秋帆・江川太郎左衛門の活躍を中心に編述。

四六判 452頁 ¥2,200

(勁草書房)

中国現代史研究序説

今堀誠二著

中共成立後の五段階時代区分など個別・専門研究を基に自説を展開しつつ文革までの歴史を概観。

A 5判 208頁 ¥1,900

(勁草書房)

歴史と文学の諸相

今村与志雄著

一朝鮮・ヴェトナム・中国一

日本侵略期の社会と教育、朴趾源、漂泊の詩人金笠など多様な角度からの朝鮮像、その他を追求。

四六判 384頁 ¥2,600

(勁草書房)

古語拾遺・高橋氏文

日本神話、日本古代史の解明に欠かすことのできない本書に神話学・文化人類学の成果を注入した
A 5 判 400頁 ¥4,800 (現代思潮社)

日本財閥史

日本資本主義発達史の根幹をなす、財閥の史的発展の分析。精緻な基礎理論に裏づけられた労作。
A 5 判 592頁 ¥5,000 (社会思想社)

日本古代文化の探究

都 城

日本における都城の成立とその条件につき、古代中国、朝鮮の都城と比較対比し、考究する。
四六判 396頁 ¥1,200 (社会思想社)

日本庭園史大系補巻 3

現代の庭(5)

御香宮、京都府立総合資料館、島根県立中央病院正眼寺、屋島寺、石像寺、福智院など12庭園。
A 4 判 248頁 ¥8,200 (社会思想社)

まほろばの僧

一法隆寺・佐伯定胤

近代仏教史上、偉大な業績を遺した傑僧の苦難の生涯を、謎多い法隆寺の解明と共に描く好読物。
四六判 240頁 ¥1,300 (春秋社)

日本における 歴史学の発達と現状Ⅳ

歴史学全分野にわたって、1969—73年の研究動向を刻明に整理する。巻末の全研究者索引は貴重。
A 5 判 560頁 ¥6,000 (東京大学出版会)

日本海事研究

松浦党を中心とした中世武士団の存在形態を追及また大船廻法奥書を収めて日本海事史を集大成
A 5 判 430頁 ¥4,800 (東京大学出版会)

戦国期の権力と社会

「戦国期」を、日本歴史の展開のなかでいかに位置づけるか、この激動的変革の時代を総合研究。
A 5 判 340頁 ¥3,000 (東京大学出版会)

文禄・慶長役における 被擄人の研究

秀吉の朝鮮侵略における相互捕虜の実態についての実証的研究の集大成。初めてその実態を明かす
A 5 判 800頁 ¥12,000 (東京大学出版会)

上原勇作関係文書

明治末から昭和初期にわたる、元帥上原勇作の書簡、その他を収録。貴重な研究素材を提供。
A 5 判 840頁 ¥8,000 (東京大学出版会)

日本の歴史家

明治以降、歴史学の草創期から今日まで、重要な役割を果たした歴史家を取りあげ克明に分析する。
B 6 判 380頁 ¥1,700 (日本評論社)

叢書・歴史学研究

郡司の研究

古代国家と律令の地方行政機構、在地の階級関係・諸矛盾の実態に斬新な視覚を提示した労作。
A 5 判 400頁 ¥4,300 (法政大学出版局)

ものと人間の文化史

釣 針

世界各地の遺跡出土物を通して釣針の歴史を概観し人類史における釣りの役割の変遷を考察する。
四六判 278頁 ¥1,300 (法政大学出版局)

日本畜産史〈食肉・乳酪篇〉

加茂儀一著
人類の肉食生活の起源から説きおこし、肉食・乳酪の知られざる歴史を発掘する稀代の書
A 5 判 430頁 ¥4,500 (法政大学出版局)

線文字Bの解読

古代史の画期的な大発見の一つであったクレタ線状文字の解読の経過を描く、感興にみた読物。
B 6 判 252頁 ¥1,800 (みすず書房)

近代史における 国家理性の理念

国家の行動原理を、マキアヴェルリから現代にいたる、為政者の行動と理念のうちに明かにする。
A 5 判 592頁 ¥4,000 (みすず書房)

リプリント版

社会経済史論集

社会科学史上の巨人、M・ヴェーバーの、社会史・経済史に関する論文集(絶版)のリプリント。
菊判 560頁 ¥4,000 (みすず書房)

セザンヌ

絵画を天職とした偉大な生命のドラマチックな躍動、その苦悩と燃焼を描き出す興味深い読みもの
四六判 440頁 ¥2,500 (みすず書房)

フランス政治史(下)

中木康夫著
フランス政治史の諸過程把握における多くの混乱
と歪曲を批判しつつ構成・叙述した大著 3冊完結
A 5判 360頁 ¥3,000 (未来社)

有斐閣選書

上代の文学

木下正俊 稲岡耕二編
一日本文学史1— 古典研究の成果にもとづき日
本文学史の全体像を問い直す全5冊の第1巻。
四六判 340頁 ¥1,200 (有斐閣)

古代史と考古学

斎藤 忠著
豊富な経験と高い識見によってなされた珠玉の随
想、小論集。関心をもつ人にとって絶好の指針。
四六判 312頁 ¥1,300 (吉川弘文館)

古代史の人びと

直木孝次郎著
古代史の諸相を古代の人々を通して描くと共に、
現在の古代史を築きあげた歴史学者の業績を論評
四六判 280頁 ¥1,300 (吉川弘文館)

研究史 古代の姓

前之園亮一著
古代史研究の盲点である「姓」について、歴史的意
義や成立の経緯、及び戦後の諸研究を詳細に紹介
四六判 248頁 ¥1,300 (吉川弘文館)

東寺百合文書目録Ⅰ 京都府立総合資料館編

総数二万点におよぶ東寺百合文書の本格的目録。
古代史・中世史の研究者必備の基本図書である。
A 5判 500頁 ¥6,800 (吉川弘文館)

九州天領の研究

杉本 勲編
一日田地方を中心として一九州天領の中心豊後日
田の政治、経済・文化上の諸問題の総合的研究。
A 5判 656頁 ¥8,300 (吉川弘文館)

奈良市史 建築編

奈良市史編集審議会編
斯界第一線の研究者が、平城京から近代までの都
市建築、庭園の歴史を残らず集大成した画期的書
A 5判 810頁 ¥7,700 (吉川弘文館)

世界史の認識と民衆

土井正興著
大学における歴史教育を原点として70年代後半に
ふさわしい世界史認識の再構成の方向をさぐる。
四六判 318頁 ¥1,300 (吉川弘文館)

広開土王碑と参謀本部

佐伯有清著
碑文をめぐる謎の人物達の経歴を明らかにし初期
の研究が参謀本部で行われた実態をえぐり出す。
四六判 252頁 ¥1,600 (吉川弘文館)

演習古文書選 様式編

日本歴史学会編
文書様式の分類を主眼として編集したもので、中
世文書を中心に平安～鎌倉期の文書57点を収録。
B 5判 98頁 ¥1,000 (吉川弘文館)

人文会會員名簿

(113-91 東京都文京区 本郷局私書函89号)

51. 6. 1 現在

	社 名	担当者	〒番号	所 在 地	電 話
幹 事	青 木 書 店	山根 襄	101	千代田区神田神保町1-60	292-0481
	大 月 書 店	鈴木 弘	113	文京区本郷2-11-9	813-4651
	紀伊國屋書店	八木 茂	102	千代田区五番町12 ドミール5番町	263-9006
幹 事	勁 草 書 房	石橋 雄二	112	文京区後楽2-23-15	815-5277
	現 代 思 潮 社	安藤 豊	112	文京区小日向1-24-8	943-4406
幹 事	社会思想社	鎌塚 正	113	文京区本郷1-25-21	813-8101
	春 秋 社	根津 栄二	101	千代田区外神田2-18-6	255-9611
幹 事	晶 文 社	中村 勝哉	101	千代田区外神田2-1-12	255-4502
	誠 信 書 房	矢戸 玄徳	112	文京区大塚3-20-6	946-5666
	筑 摩 書 房	福岡 賢次	101	千代田区小川町2-8	291-7651
	東 京 創 元 社	清水 純孝	162	新宿区新小川町1-16	268-8231
	代表幹事 東京大学出版会	中平千三郎	113	文京区本郷7-3-1	812-2111 内6488
幹 事	日 本 評 論 社	醍醐 隆	160	新宿区須賀町14	341-6161
	福 村 出 版	福村 惇一	113	文京区本郷4-23-9	811-0660
	平 凡 社	今給黎元郎	102	千代田区四番町4-1	265-0451
幹 事	法政大学出版局	阿部 好文	106	港区南麻布2-8-4	453-0717
幹 事	み す ず 書 房	相田 良雄	113	文京区本郷5-32-21	814-0131
	未 来 社	石井奈良彦	112	文京区小石川3-7-2	814-5521
	有 斐 閣	前田 昌男	101	千代田区神田神保町2-17	265-6811
	吉 川 弘 文 館	川越 重行	113	文京区本郷7-2-8	813-9151
	理 想 社	(休会中)			

特約店委員会 ◎相田, 清水, 石井

販売第1委員会 ◎鎌塚, 鈴木, 根津, 福岡, 今給黎

販売第2委員会 ◎中村, 矢戸, 前田, 川越

弘報委員会 ◎石橋, 八木, 安藤, 福村

◎印は委員長

フランス・リセの
哲学教科書 ●全4巻

哲学講義

P・フルキエ

森有正・中村雄二郎・菅野昭正監訳

思想とは何か、考えるとはどういうことか。現代人はいかにして自己目的を見出し、主体を確立すべきか。思考の自覚と方法を平易に説いた好個の哲学入門。待望の本邦初訳。

①認識 I ●大增刷出来

②認識 II ●好評発売中

③行動 I 7月刊

④行動 II 別冊総索引付

A5・函入・320～360頁・月報6頁・各1800円

東京神田 筑摩書房 小川町2

狂雲集 全釈上

平野宗浄著

禅僧一休宗純の家集『狂雲集』の全偈について、書き下だし、現代語訳を試みた大著。特に作偈の動機や、語句の典拠を示した注釈は圧巻!

菊判上製箱入 四〇〇〇円
《下巻》近刊

近代仏教史上に偉大な業績を遺した、傑僧の生涯を、謎多い法隆寺の解明と共に描く伝記

太田信隆

まほろばの僧

法隆寺・佐伯定胤

東京都千代田区外神田2-18-6 春秋社 振替・東京8-24861

4 歴史辞典

京大
編集

京都大学文学部各歴史研究室が総力をあげ、歳月をかけて編集した本格的な辞典。小項目主義による五千余の項目で歴史学の成果を示す必要事項を網羅。

日本史辞典

【22版】A5判(2冊) 図版付録完備 (品切中)

東洋史辞典

【12版】A5判(2冊) 歴史地図多数 付録索引完備

西洋史辞典

【19版】A5判(2冊) 付録索引完備

水野清一、小林行雄編
図解考古学辞典

定価三〇〇〇円
B6判(2冊) 項目毎に図版入

東京創元社 東京新宿新小川町

現代心理学の展開

ジョン・コーエン編

北村晴朗監修

全10巻
第1期 5巻

① 特殊環境における行動と知覚
ロス/大久保幸郎・鈴木由紀生訳 一八〇〇円

② 心理学的確率
コーエン/北村晴朗・佐藤 怜訳 一五〇〇円

③ 労働環境の心理
ヘル/長塚康弘訳 六月発売予定

④ 人間と動物の初期学習
スラッキン/佐藤俊昭訳 六月発売予定

⑤ 行動の洞察
コーエン/小野章夫・八田武志訳 近刊

誠信書房

東京都文京区大塚3の20の6

相馬一郎・佐古順彦著

心理学双書／¥1200

環境心理学

現在、世界的問題になっている「人工的環境」に対して心理学的立場からアプローチを試みるのが環境心理学である。本書は、現代日本の公害問題等を具体的な例として取りあげ環境心理学を判りやすく説明する。

C・J・フリードリッツヒ／三邊博之訳

¥1300

伝統と権威

政治の世界⑥

「権威」概念のもつ本来の政治的意味を、「理性」概念との関係から考察し、その合理的基礎を提示する。

東京文京本郷4 福村出版 振替東京9-78313

会出版大学東京

ニヒリズム 渡辺二郎

■UP選書／九〇〇円

内面の現象学。ニヒリズムとは、無意味化させた世界の中で、力強い、宿命的な、おのれ自身の生成であらう——と語る。

仮面の解釈学 坂部恵

■UP選書／九〇〇円

語源説、精神分析そして現象学的手法を駆使して、仮面と鬼面のたわむれの世界へ新たな言語思想をめざす鋭鋭の第一評論集

物と心 大森荘蔵

■A5判／二八〇〇円

存在と意識、身体と心という哲学の根本テーマをめぐって、こうした二元論の仮構をとり壊し、新たな論理を提起する。

113 東京文京東大構内 振東6-59964 総目録送呈

日本評論社

講座 こころの科学

島箇安雄・宮本忠雄編

〈全3巻〉

ヒトのこころにかかわる主要テーマを網羅し、今日到達した「こころの科学」の最前線を最適の執筆陣により平易に解説。現代人の問いに答える必読の教養書。

- 1. こころの生理 一六〇〇円
- 2. こころの生態 一六〇〇円
- 3. こころの病理 一六〇〇円

東京都新宿区須賀町14／振替・東京0=16番

大思想家の真髓を伝えるアンソロジー

世界の思想家 全24巻

第一回配本

5月15日3冊同時発売

第6巻 ガリレオ 編 青木靖三

第9巻 ルソー 編 河野健二

第12巻 ヘーゲル 編 廣松 渉

定価＝各720円
以後毎月1冊発売
6月15日 8巻パスカル
7月15日 16巻マルクス

平凡社

東京都千代田区四番町4

Libraria

法政大学出版局刊

A・J・エイヤー／竹尾訳
2400円
哲学の中心問題

ハンス・マイヤー／古沢謙次訳 980円
ハプニングと沈黙
—現代文学の可能性—

アグネス・ヘラー／良知力・小箕俊介訳
個人と共同体 980円

東京都港区南麻布2-8／振替東京6-95814

壇谷雄高評論集

石棺と年輪

●B6判上製函入・二〇〇円

戦後文学・思想のなかで独自の位置を占める著者が、現代への道程を自伝風に記録し精神の深淵を惜しみなく披瀝しながら内に潜む思考方法・認識力を示す

◀既刊16冊▶

濠洲と風車
鞭と独楽
墓銘と影絵
農民と拍車
垂鉛と彈機
甕と罌
振子と罌
渦動と天
兜と冥府
橄欖と遊星
鐘と遊星

幻視のなか
の政治
凝視と密着
架空と現実
黙示と発端
幻視 800円
鐘と1200円
黙示1200円
他各1000円

東京・文京
小石川3の7

未来社

電話・代表
(814) 5521

【心理学】

現代心理学の基本領域を
全6冊でやさしく解説！

1 知覚・認知

柿崎祐一・牧野達郎 九五〇円

2 学習・思考

金城辰夫・斎賀久敬 続刊

3 動機づけ・情緒

吉田正昭・祐宗省三 続刊

4 人格

星野 命・河合隼雄 八五〇円

5 発達

岡本夏木・三宅和夫 続刊

6 社会心理

辻 正三・中村陽吉 八〇〇円

東京都千代田区神田神保町2-17

有斐閣

神田盾夫著作集

川田 殖・松永希久夫 編集 全5巻・別巻1 (内容見本呈)

神田孝平・乃武を祖父・父にもつ著者の名は、濯濯孤高と評される学究の人格のゆえに学界における高名に比して一般に知られること少いが、その学問は、緻密な文献学的基礎に立つ歴史的批評の方法を初めて導入したものとしてみえ、国聖書学界に測り知れぬ意義を荷う。内村鑑三門下の質実なキリスト者たる西洋古典学・聖書学者の半世紀に及ぶ業績を集成し、ヘレニズム時代と新約の世界を現代に生き生きと甦らせる著作集である。

1 西洋精神の源流 三〇〇円
2 西洋古典と聖書の世界 5 折りにつれて
3 新約聖書文獻学・パピルスの話 別巻ギリシア語朗読・新約聖書

東京文京本郷 3
振東 〇-195132

みすず書房

大月書店

弁証法的唯物論による認識論の体系的研究

科学的認識の理論

岩崎允胤 著
宮原将平

A5判上製
四五〇〇円

6月下旬刊 観念論的な科学方法論を鋭く批判し、科学的認識の形成・発展の諸契機と科学の方法について人類の発展と諸科学の統一の展望のもとに積極的かつ総合的に解明。哲学者と物理学者の学際的協力の成果

現代自然科学と唯物弁証法

岩崎允胤・宮原将平著

A5判 三五〇〇円

東京文京本郷2-11-9/振替 東京3-16387

古代史と考古学

斎藤 忠著

四六判・三六頁／定価一三〇〇円

考古学の研究を多年にわたって続けてきた著者が、その豊富な経験と幅広い知識によってなされた珠玉の随想と小論文。那馬台国論をはじめ騎馬民族批判など古代史と考古学に関心をもち人々への絶好の指針。

広開土王碑と参謀本部

佐伯有清著

四六判・三五頁／定価一六〇〇円

酒匂景信・青江秀・横井忠直ら初期の広開土王碑文をめぐる人々を追及し、幾多の新資料を明らかにし、参謀本部の碑文研究の実体をえぐり出した興味深い書。日本近代史の側面をも究明し、未知の真相を解明する。

世界史の認識と民衆

土井正興著

四六判・三〇頁／定価一三〇〇円

ベトナム革命の成功など世界史は大きく動きつつある。大学での歴史教育をとおして学生の歴史意識の問題点を把握し、更に歴史における人民の役割を位置づける方法を探りつつ、新しい世界史認識の再構成を問いかける。

東京都文京区本郷7-2-8 吉川弘文館 振替 東京0-244 電話 813-9151

人類学の地平と針路

モーリス・ゴドリエ / 山内和訳

経済システムの隠された論理、および未開社会の親族構造、生産過程、神話や宗教などを著者みずから行なったニューギニア・バルヤ族の実地調査をふまえて科学的に解明し、マルクス思想の再検討と現代人類学の根本問題を提起した画期的労作である。 ■二五〇〇円

紀伊國屋書店
東京新宿3-17-7/振替東京125575

非売品

青木書店

金芝河作品集

ファツシヨ的維新独裁体制と死を賭して闘う不屈の詩魂

井出愚樹編訳 各¥950 全2巻

第1巻 良心宣言 苦行……1974 五行
民族のうた 民衆のうた 諷刺か自殺か
チノギ ナボレオン・コニヤック

第2巻 詩「不帰」地獄」他50篇／戯曲「金冠
のキリスト」／長詩「冀氏物語」／宣
言文／控訴理由書／書簡・日記／年譜

東京都千代田区神田神保町1-60

昭和51年6月1日発行 年4回発行 第12号
発行所 人文会 東京大学出版会内
〒113 東京都文京区本郷7-3-1
(113-91 東京都文京区 本郷局私書箱89号)